

対象	中学校 3 学年以上
教科	社会科・特別活動
該当 単元	<p>中学 3 年</p> <p>「さまざまな 国際問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境問題 ・ 資源エネルギー 問題 他
教科書	東京書籍等
掲載日	2018. 4. 2. 朝刊 12 版 3 面

廃プラ・古紙 中国受け入れ制限

EU資源ごみ

行き場なく



2月末、英南西部トントンで、家庭から出た資源ごみを分別しながら回収する委託業者



廃プラスチックや古紙など資源ごみの世界最大の輸入国である中国が、環境規制見直しを理由に今年初めから一部の輸入を禁止し、大量に資源ごみを輸出してきた欧州諸国が頭を抱えている。欧州連合（EU）はプラスチックごみを激減させる対策を発表、当面は東南アジアなど中国以外に輸出先を探すのに必死だが、他国を「み捨てる場とする構図そのものが見直しを迫られている。（ロンドン 阿部伸哉、写真も）

不意打ち通知

「中国の環境と国民の健康を守るため、汚染がはなはだしいごみの輸入を禁止する」。昨年七月、中国政府は突然、世界貿易機関（WTO）に通知、今年一月から、家庭から出た廃プラをはじめ、ホチキス針やテープが付いたままの古紙など二十四種類の輸入禁止に踏み切った。

中国はこれまで、分別が不十分な資源ごみでも安く国外から買い、人海戦術で

リサイクル構図曲がり角

「全ての対策を考えなくてはならない。中国はもうわれわれのごみを受け入れられないからだ」 EUの欧州委員会は一月、三〇年までにプラスチック容器や包装を全て再利用

品質で選別化

だが経済発展に伴い、自国の「ごみ処理で手いっぱい」に。再利用の態勢が整わず不法投棄による環境汚染も社会問題化している。

業界組織である国際リサイクル協会（本部ブリュッセル）は、幹部を北京に派遣し「輸入禁止の基準を緩めてほしい」と陳情した。中国は今後、分別が徹底された「高品質」の廃棄

廃プラスチック輸入国(2016年)



古紙輸入国



※国際貿易センター調査を基に作成

分別して再利用してきた。国連とWTOの共同調査機関「国際貿易センター」（ITC）によると、二〇一六年には世界の廃プラ輸出の六割超、古紙輸出の半分を買い上げた。

環境面で先進的な欧州だが、大量の資源ごみを輸出してきた。一六年には回収した廃プラの約三割、古紙の二割弱を中国に売却。英国リサイクル協会のサイモン・エリン会長は「あまりに長い間、中国頼みが続いた。処理業者には大打撃だ」と、率直に認める。

東南アジアへ

物は輸入を続けるが、量は半分以下になるとみられる。だが中国に比べて処理能力は限られる。しかも東南アジアは、中国に次いで廃プラによる海洋汚染の排出源となっており、汚染海域を拡大しかねない。リサイクル業界や環境団体には、中国の輸入規制を「転機」と歓迎する声もある。英国の処理会社「DSSミス」は英議会で「輸出に頼るモデルを脱し、リサイクルのインフラに投資するチャンス」と提言した。

問1：世界各国では資源ごみをどう処理していると思っていましたか。A～Cから選び○をつけましょう。

- A : 各国の国内で再利用するために処理されている
- B : 資源を分けて、使えるものは輸出したり再利用したりしている。
- C : 考えたことがなかった。

問2：記事をよく読み、根拠を明らかにして「環境問題」についての意見を書き、友人と意見交換しましょう。
